

地域の森林・林業の再生に向けた取組み

神石高原町では、平成 17 年より地域の林業振興を図ることを目的とした「**神石郡林業振興対策協議会**」を設け、当協議会に参画する各種機関が連携して**地域の森林・林業の再生**に取り組んでいます。今年度の会議が6月26日開催され、広島北部森林管理署からも構成メンバーとして出席しました。

会議では、今年度から運用された新たな森林管理システム(**森林経営管理制度**)における意向調査の進め方、実施地区の選定や意向調査時期などについて検討するとともに、森林所有者の意向を確認した上での森林整備のあり方など、具体的な議論を深めました。

広島北部森林管理署では、この会議での各機関等からの意見や要望を踏まえ、それらの声に応じていく**民有林支援**に積極的に取り組みます。



神石高原町長挨拶



民有林との連携を説明する書長



会議の様子



神石高原町福永地区での民有林連携の事例 (作業道の連結)

小学校での森林環境教育を行いました

広島北部森林管理署では、平成 21 年 3 月に**アサヒの森環境事務所**との間で締結した協定に基づき、毎年 2 回庄原市内の小学生を対象にした森林環境教育に取り組んでいます。今年度第 1 回目を7月9日、**庄原市立高野小学校**の児童を対象に、葉っぱのクイズや丸太切り体験などを行いました。また、7月25日には、今年度第 2 回目の森林環境教育を、「アサヒの森」(甲野村山)において、**庄原市立比和小学校**の児童が参加して行いました。木工教室、散策などの体験のほか、森林の水質浄化実験、森の働きなどについて学びました。この取組は、協定相手方である**アサヒの森環境事務所**と連携して取り組んでおり、7月25日の森林環境教育で18回目の取組となりました。このように、当署では企業の社会貢献活動の支援を通じた森林環境教育にも積極的に取り組んでいきます。



葉っぱのクイズを考える児童 (R1.7.9)



高野小学校 (R1.7.9)



森林の働きの紙芝居 (R1.7.25)



木工教室 (R1.7.25)

庄原実業高校環境工学科への森林環境教育

広島北部森林管理署では、将来の林業の担い手として期待される**庄原実業高校環境工学科**の生徒を対象にした森林環境教育に、今年度から取り組みます。同校の環境工学科では、2年次に林業を専攻する**環境保全類型コース**と、それ以外のコースに分かれます。現在2年生12名が環境保全類型コースで林業を学んでいます。当署では、2年生の生徒を対象に専門教科を補完する分野について、卒業するまでの2年間に、計6回(各学期毎に1回)の森林環境教育を行うこととしました。7月12日、森林の持つ多面的機能をテーマに第1回目の森林環境教育を行いました。このように、広島北部森林管理署では、民有林の人材育成にも積極的に取り組みます。



森林環境教育の様子



環境工学科の生徒の皆さん

◆庄原実業高校への森林環境教育カリキュラム

区分	1学期	2学期	3学期
1年次	-	-	-
2年次	森林の持つ多面的機能 森林施業	森林・林業・木材産業の現状 新たな木材利用	国有林野事業
3年次	「森林・林業白書」の解説	卒業地見学	2年間のまとめ



近畿中国森林管理局 広島北部森林管理署  
TEL:0824-62-2155/FAX:0824-62-2156  
〒728-0012 広島県三次市十日市中2-5-19

